



重要文化財 旧伊勢郵便局舎 (宇治山田郵便局舎)保存修理事業



所在地

愛知県 犬山市 字内山 一番地
博物館明治村内4丁目46番地
重要文化財 旧伊勢郵便局舎
(宇治山田郵便局舎)

博物館 明治村



建物概要

建造物名称	旧伊勢郵便局舎(宇治山田郵便局舎)
文化財種別	重要文化財
指定年月日	平成11年5月13日(建第2363号)
旧所在地	三重県伊勢市岩渕町
所有者	日本郵政株式会社
建築年代	明治42年(1909)建設/昭和44年(1969)移築
構造及び形式等	木造平屋建、 東西翼部寄棟造、中央・東西塔屋ドーム形、銅板葺
寸法	建築面積 601.9㎡, 棟高 中央ドーム:10.890m 翼部:9.925m

旧伊勢郵便局舎(宇治山田郵便局舎)は、伊勢市岩渕町1丁目121番地の11(旧宇治山田市大字豊川町字前野121番地の11)、伊勢神宮外宮前の地に明治41年(1908)11月25日に起工、明治42年(1909)5月14日に竣工した木造平屋建の本格的な郵便局舎である。

建物の設計者、工事監督は、それぞれ通信省の技手白石圓治、同じく技手石渡喜三郎、施工業者は、山田町の岡田斎次郎である。明治40年(1907)6月当時の通信省職員録をみると白石圓治、石渡喜三郎は双方とも當繕課工事係の四級俸の技手であり、中堅クラスの技術者であったことが知れる。また、当時の當繕課長は、吉井茂則であった。

建物は、木造平屋建、屋根及び庇は銅板葺である。平面は、円形の中央ドームとその両脇にV字型に連なる東西翼部から構成される。

外観は、中央ドームを中心として、概ね左右対称型である中央ドームは、天井廻りにハイサイドライトを設けた円形の屋根をもち、その左右に小ドームを載せた下見板張りの塔屋を配し、寄棟造の東西翼部と接続する。外壁は、中央ドームとも正面側をハーフティンバーとして、木部をペンキ塗仕上げ、外壁を白漆喰塗りとする。また、窓上の小壁に、パルメット状の漆喰レリーフを嵌めて飾るほか、腰廻りおよび軒廻りなどは堅板張りとする。明治時代の大規模な木造郵便局舎であり、伊勢神宮の近くにあつて斬新で独特の洋風意匠で計画された希少性が高く評価されている。



建物正面



平面図

事業概要

銅板屋根葺替、部分修理、塗装修理、耐震補強

予定事業期間

平成30年(2018)9月～令和4年(2022)10月

2020年度における工事内容

仮設工事	内部足場の適宜設置
耐震補強工事	基礎、小屋組、柱頭柱脚、内外壁
復旧工事	屋根：垂木、野地板、ドーム屋根壁銅板
	軒周り：塗装、軒樋
	外壁：下見板、堅嵌板、漆喰、塗装
	天井：紙天井、塗装
	内壁：漆喰壁、堅羽目板
	床：土間

工事の進捗



西翼部小屋組(耐震補強前)



西翼部小屋組(耐震補強後)



両翼部垂木補修完了



中央ドーム小屋組補修完了



現業室床板解体完了



東翼部柱脚金物・構造用合板補強取付・補強基礎打設完了



集配人区分室土間コンクリート打設前状況



集配人区分室土間コンクリート打設完了